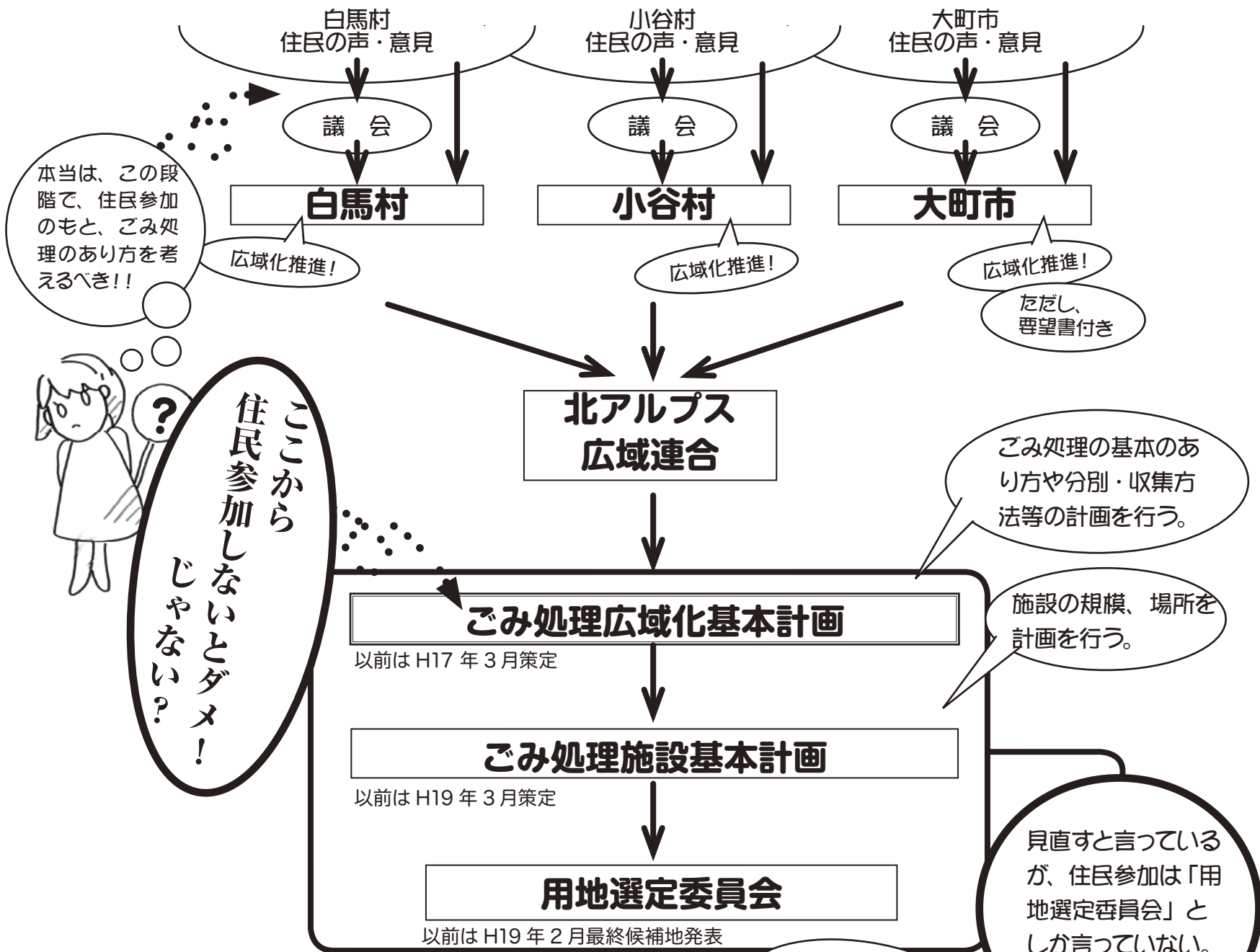


ごみ焼却場建設の今後の行方

みなさんご存知ですか？ 白馬村・大町市・小谷村が、広域化の枠組みで「ごみ処理施設」を作る事に決めた事を。そして、北アルプス広域連合議会（8/24-25。その前 8/10 にごみ処理特別委員会あり）補正予算を組んで、次の一手を進めることを。

各市村で、「広域化の是非も含めて、再検討する」とされていたにも関わらず、十分な話し合いや検証が無いまま「ごみ処理広域化計画」を押し進めようとしています。

「ごみの問題」は、私たちの日常生活に直結し、今後の村づくり～村ごと自然公園～にも大きく影響する大きな問題です。行政は、みんなの声を聞いていますか？ 処理場を作る事は 5・10・20 年先の未来を作る（考える）ことです。みなさん注視して行きましょう！ 建設地は村内 0 地区と言う噂もありますので・・・。



【ごみコラム】

8月10日広域連合議会「ごみ処理特別委員会」が開催。3市村の民意を集約して連合長から方針が発表され、同日16時から白馬村議会でも「ごみ処理特別委員会」が予定。『白馬村づくりとごみ問題』第二幕の始まりです。でもちょっと待て、第一幕の「アンケート結果の検証と総括」がまだ発表されていません（要請中）ネ。どこが問題で、どこでボタンを掛け間違えたか、きちんと総括しなければ、また民意の読み間違えを繰り返すことになりませんか？ 方針発表の前にそれを公表し、次に「ごみ処理広域化基本計画」の見直しを、その検討委員会には行政委員と同数の公募の住民委員を参加させるかが、第二幕の試金石ですネ。

先日の総会で、ごみ連協の役員が変わりました。

会長： 長谷川 恒信
副会長： 尾川 耕
事務局長： 加藤 亮輔

よろしくお願い致します!!

ごみ連では、ごみ処理場計画の問題点を指摘し、その解決に向けて、今まで一貫して「住民参加」「情報公開」「行政との話し合い」などを求めて来ましたが、●行政や議会や賛成派とされるほんの一部の人々が、ごみ連を「反対のための反対」とレッテルを貼り、問題解決の糸口を塞いできました。私たちは粘り強く、糸口を見つけようとしているのですが…。●今までもこれからも！

住民参加で 考えよう！

私たちが調べる限りでは、現在の計画のまま「広域化」を進める場合。右の視点に立って、計画を作り実施する「住民参加の場」が保証されていません。

「ごみ処理」の問題は、
エコ社会を作る上での、大きな課題です。
資源の無駄づかい、二酸化炭素排出などを抑えるために
大量生産→大量消費→大量廃棄 を見直す。
まずは「ごみ」から。「分ければ資源」です。

ごみの減量化から考える「ごみ処理施設を！」
今後 20 年の「地域のあり方・生き方」が、問われています。

7/14 に行われた、臨時村議会の村長挨拶より（下線部は、ごみ連加筆）

平成21年第3回白馬村臨時議会(7月)

白馬村村長招集あいさつ

MEMO

平成21年7月14日(火)

また、新ごみ処理施設建設に関しましては6月25日、7月11日と3回にわたり住民懇談会を開催致しました。

ごみそのものを減量することの必要性や減量に努めることは共通の認識を皆さんがお持ちですが、広域化に関するメリット・デメリットや現有施設の耐用年についてはこれまでと同様、それぞれ考え方に相容れない部分があり、今後も歩み寄りや理解をいただくことは難しく平行線をたどるのではないかと推測されます。

現有施設の老朽化が進み、いつ稼働停止になるかもしれない恐れもある中で、行政の責任として、こうした押し問答をいつまでも繰り返す訳にはいかず、白馬村としての今後の方向を出す必要があります。

私自身は、これまで何回も繰り返し述べてきたつもりですが、これまでの経過や総合計画における位置づけ、現在の施設の更新時期、今後の維持管理・焼却残渣対策など各方面から検討すれば、理想論や白馬村単独では事業化が図れないことは明白であり、3市村による広域処理が絶対に必要だと考えております。従いまして白馬村としては、今後も広域処理を大前提として大町市・小谷村との連携を視野に進むことと致します。勿論その上で懇談会やこれまでの一連の流れの中で出された『ごみ減量化、コスト縮減、開かれた選考過程』などについては真摯に対応をして参りたいと考えておりますので、住民の皆さんには勿論のこと、議員各位にもご理解ご協力の程をお願い致します。

提出致しました議案についてご審議をいただき、円満なるご議決をいただくようお願い申し上げます、簡単ではございますが、臨時会招集にあたりましてのご挨拶と致します。

本日は大変、ご苦勞様でございます。

ごみ連協の活動の詳細は、ホームページをご覧ください。各種資料もあります。

村長（行政）は、住民と真正面から向き合っ
て、住民と共に問題を整理し、1つ1つの疑問について丁寧に「データを集め・議論する」
必要は無いと思っているのでしょうか？ 6-7
月に行った「懇談会」のやり方は、時間も資料も少な過ぎます。

問題解決の「場」（委員会など）を設ける事
も無く。住民を置き去りにして、進んで行き
たいのでしょうか？

7-9 年前に 9 億円かけてダイオキシン対策
をし「新品同様」になって、平成 32 年まで
の使用計画もある。それが、2 年前の住民説
明会では、H27 年までの使用。この前 7/11
の懇談会では、H25 年まで…。そして直後の
14 日には、「いつ停止するか」と説明。こんな
にコロコロと変わるのは、おかしいよね。

これが本当なら、日頃の施設運営のやり方
に大きな欠点があるの？ 新しいものを作る
前に、この大問題を解決しないと。ネ。

ごみ減量化! おおいにやって下さい。どの
地域でも「住民・企業の協力なくして減量は
できない!」と言っているように、計画～実施
まで住民参加でお願いします。

皆様の一層のご支援をお願いいたします!

カンパ振込先 ●八十二銀行白馬支店/普通口座:137464
名義:ハクバゴミモンダイカンパ ●ゆうちょ銀行/口座記号番号
00520-2-83674/名義:白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会